

市民意識調査の実施概要について

1 調査の目的

本調査は、市民生活の現状、市民の行政に対する要望、市政に対する評価の実態、市民の意識等を的確に把握し、今後のまちづくりに資するべく「習志野市後期基本計画」の策定における基礎資料を作成することを目的とする。

調査に際しては、無作為抽出した市民を対象とし、調査票を郵送して行う「市民意識調査（郵送方式）」と、市に立地・隣接する大学の学生を対象とした「大学生意識調査」を行う。

2 調査対象者・調査方法等

【市民意識調査（郵送方式）】

調査対象	住民基本台帳に記載されている満 15 歳以上の市民
対象人数	5,000 名
実施時期	平成 30 年 10 月
配布・回収方法	郵送による発送・回収及びインターネット回答

【大学生意識調査】

調査対象	千葉工業大学、日本大学生産工学部、東邦大学の学生、各大学の学生
対象人数	各大学 500 名、合計 1,500 名
実施時期	平成 30 年 10 月（予定）
配布・回収方法	各大学学生担当課を通じて配布、回収ボックスを設置し回収

3 調査項目

【市民意識調査（郵送方式）】

番号	項目	内容
1	基本属性・居住形態等について	性別、年齢、居住地区、既婚・未婚、家族構成、職業、勤務先・通学先、通勤・通学時間、住居形態
2	住みよさと定住意向について	居住年数（過去の居住地、転入の主な理由）、住みよさ、住みよい／住みにくい理由、定住意向（定住／転出したい理由、転出先）
3	行政情報について	情報入手方法、広報習志野の入手方法、広報に対する要望
4	市政全般について	特に重要な施策、優先順位が低い施策、具体的に取り組む施策、施策の満足度（満足度が低い理由）
5	J R津田沼駅周辺地域について	必要な公共施設、文化ホールの利用、文化ホールの規模・機能
6	協働型社会・地域福祉について	活動状況（活動する団体、活動しない理由）、必要な施策 心配・不安なこと、相談先、相談内容
7	公共施設再生について	計画の認知度、方策への意向、公共施設の利用頻度
8	財政健全化、地方創生について	サービスと負担、経営改革の施策、市の現状（理由）、移住・定住促進策、習志野らしさ、習志野市のまちづくりについて

【大学生意識調査】

番号	項目	内容
1	基本属性・居住形態等について	性別、年齢、 <u>通学方法</u> 、 <u>居住地区</u> 、卒業後の居住地
2	大学卒業後の進路について	卒業後の進路
3	将来の就職先について	就職先の希望地、将来働きたい業種
4	結婚・子育てについて	結婚意向、理想のこども人数、こどもを持つことへの不安
5	ボランティア活動について	興味の有無、興味のある分野
6	習志野市について	良いまちと思うか、市への満足度、 <u>定住意向</u>
7	市政全般について	<u>サービスと負担</u> 、 <u>経営改革の施策</u> 、 <u>移住・定住促進策</u> 、 <u>J R津田沼駅周辺地域に必要な公共施設</u> 、 <u>公共施設に対する方策への意向</u> 、 <u>習志野らしさ</u> 、 <u>習志野市のまちづくりについて</u>

※下線を引いたものは郵送方式と同様の設問